

第1回（次期）北九州市障害者支援計画策定委員会

（会議要旨）

日 時	平成23年5月24日（火）18:30～20:00
場 所	北九州市役所3階 大集会室
出席委員 （26名）	市川委員、糸永委員、伊野委員、梅本委員、江上委員、大関委員、大曲委員、岡田委員、門田委員、國家委員、桑園委員、古賀委員、小柳委員、酒井委員、志井田委員、末安委員、杉原委員、高崎委員、竹田委員、田中委員、林委員、原田委員、比舗委員、水江委員、山根委員、米島委員
欠席委員 （4名）	井田委員、杉本委員、錦織委員、山田委員
事 務 局	【保健福祉局】 保健福祉局長、障害福祉部長、障害福祉課長、地域移行・精神保健福祉担当課長、障害福祉センター所長、 【関係課】 子ども家庭局子ども家庭政策課長
次 第	1 開会 2 保健福祉局長あいさつ 3 議事 （1）正・副委員長の選出 （2）北九州市障害者支援計画について （3）（次期）北九州市障害者支援計画策定の考え方について （4）その他 4 報告事項 国の動向について 5 閉会

会 議 経 過

発言者	発 言 要 旨
事務局	<p>【開会】</p> <p>ただ今から、第1回(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会を開催する。</p> <p>なお、本市では、室温28度軽装化を実施している。皆様にもご趣旨をご理解のうえ、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>【辞令交付】</p> <p>次に委員委嘱の辞令交付を行う。時間の関係もあるので、席の方に委嘱状を配付させていただいている。誠に恐れ入りますが、お名前等に間違いがないかどうかご確認いただきたい。また、お手元の名簿をもってご紹介にかえさせていただきたい。なお、委員の任期につきましては、来年の3月末までとなっている。本日は、井田委員、杉本委員、錦織委員、山田委員については、所用のため欠席である。</p> <p>【保健福祉局長あいさつ】</p> <p>それでは、開会にあたり、保健福祉局長の垣迫よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、次期北九州市障害者支援計画策定委員会の開催にあたりまして、大変お忙しい中、お集まりいただき感謝している。現在本市では、平成18年3月に策定した北九州市障害者支援計画のもとで生涯を通じた支援体制の整備、充実した地域生活のための支援、さらには人権の尊重、自己実現の推進といった観点から障害のある方が自らの選択と決定によって質の高い生活を送ることができるような趣旨で各種施策を推進している。</p> <p>国においては、障害者自立支援法が平成18年度に施行されたが、3障害の種別を問わないサービスの仕組み、あるいは障害程度区分の認定といった仕組みが出来たが、一方でサービスを利用する際の負担の問題など様々な議論がある。現在の政府においては、障害者自立支援法は廃止して障害者総合福祉法を制定することになっているが、先日、障害者基本法の改正について国会に提出された。非常に動きの早い変化の早い分野である。本市においても、こうした国の動向、障害のある方のニーズを適確に捉えながら新しい計画を策定していかなければならない。</p> <p>今回お集まりいただいたのは、今年度に現在の計画が終了するということから、来年度からの計画を策定するという趣旨でございます。</p> <p>本委員会には、障害を持たれている当事者の方、関係団体の方、さらには各分野の専門の方々がお集まりいただいている。幅広い観点からご議論をいただきたい。</p> <p>最後になるが、北九州市の障害者支援計画が「北九州らしさ」というもの</p>

<p>事務局</p>	<p>を盛り込んだものとなるよう、皆様のお力添えをよろしく願います。</p> <p>【幹部職員紹介】 <u>事務局から幹部職員を紹介</u></p> <p>【会議の公開】 本委員会は、本日施行の「(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会設置要綱」に基づきまして開催することとなっている。資料1の「(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会設置要綱」に基づき、会議の公開についてご説明させていただく。 要綱の第7条には、策定委員会の会議は原則として公開すると定められている。この規定に基づき本委員会は公開とさせていただきたいと考えている。 また、第8条には、公開の会議については、その会議録を作成するとされている。従って、会議の終了後には、会議録を作成し、市のホームページに掲載して、市民の皆様へ情報提供させていただきたいと考えているので、ご協力願います。</p> <p><u>配付資料確認</u></p>
<p>委員長</p>	<p>【議事】 それでは、議事に沿って進めてまいりますので、委員の皆様にはご協力をお願いする。</p> <p>【正・副委員長の選出】 議事3-(1)の正・副委員長の選出を行う。(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会設置要綱第5条により、正・副委員長の選出につきましては、委員の互選により定めることとなっている。 それでは、正・副委員長について、どなたか、ご推薦がありましたらお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>委員長には、門田委員を推薦する。また、副委員長には、比舗委員を推薦する。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>事務局</p>	<p>異論がないので、委員長は門田委員、副委員長は比舗委員に願います。</p>

<p>委員長</p>	<p>【委員長挨拶】 ただいま皆様からご推薦いただきまして大変責任を感じているが、是非皆様方のご協力をよろしく願います。</p>
<p>副委員長</p>	<p>【副委員長挨拶】 策定委員会が支障なく進行していき円滑に行えるよう委員長を補佐してまいりたいと思うのでよろしく願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、ここからの議事進行は、委員長に願います。</p>
<p>委員長</p>	<p>【北九州市障害者支援計画について】 議事の続きとして、3 - (2) 北九州市障害者支援計画について、事務局から説明を願います。</p>
	<p style="text-align: center;">資料2に基づき事務局説明</p>
<p>委員長</p>	<p>【(次期)北九州市障害者支援計画策定の考え方について】 続いて、3 - 3の次期の北九州市障害者支援計画の考えについて事務局から説明を願います。</p>
	<p style="text-align: center;">資料3に基づき事務局説明</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいまの説明について、ご質問ないしご意見があれば願います。</p>
<p>委員</p>	<p>計画の基本理念が書かれている箇所について、基本理念が、「障害の有無にかかわらず」というところから始まる。非常に大切なポイントをとばす形になると思うため、修正が必要と思う。</p> <p>今日、部会の構成についての資料を私なりに作ってきた。これから具体的な検討は、作業部会に任されるが、この資料は、部会の全体の構成バランスをグラフ化したものである。全体の構成でみると、当事者・家族が15、支援者・関係者が同じく15だが、各部会に分かれたときにはバランスに偏りが生じる。</p> <p>そこで、3点ほど意見をまとめた。</p> <p>1点目は、作業部会としては、バランスが悪いため、構成員の再調整もしくは重複ができるような工夫が必要だと思う。</p> <p>2点目は、当事者の配分及び分野的な配分のデータを作成した。当事者は7名の委員が参加しているが、身体が6名、精神が1名であり、コミュニケーション支援を必要とする障害者の参加がない。何らかの手段でこのバランスを補完する必要がある。</p>

	<p>3点目であるが、資料の15ページは制度改革推進室が2件としてまとめたものである。北九州の支援計画の体系については、オリジナルのものであっていいと思っているが、ここには地域生活から国際協力まで、16の分野が挙げられている。これは、検討すべき要点として参考にしていかねばならないことだと思っているが、各3作業部会で、検討するとしても、関係者等に分野の限りがあるので、分野について検討するのも人材の割合を考えながら作業部会を決めていく必要があるのではないか。</p>
<p>障害福祉課長</p>	<p>まず、基本理念のところである。基本理念については、医学的モデルから社会的モデルへというところを事務局としても意識し、障害の有無にかかわらずということ、すべての市民がお互いの人格と個性を尊重し合いながらということ、障害のある方もない方もすべての市民がお互いの人格と個性を尊重し合いながらという意味合いで基本理念をまとめている。</p> <p>基本の目標の、1、2、3についても同様の理念で書いている。障害の有無にかかわらずという表現のところ、より良い表現があるということで議論の余地があるので、事務局でも考えさせていただき、返事をしたいと思う。</p> <p>2点目の具体的な検討であるが、分類については、資料の1、北九州市障害者支援計画策定委員会の設置要綱の中に、第6条の4として、「部会には、委員のほかにオブザーバーに出席を求めることができ、オブザーバーは必要に応じて部会において意見を述べるができる」という規定を盛り込んだ。この策定委員会については、なるべく多くの障害を持たれている方や団体の方に参画をしてもらいご意見をいただくとともに、全国もしくは、北九州市の中で、話題となっているさまざまな分野の方についても参画をいただきたいと考えている。指摘いただいた、コミュニケーションの関係やその他のさまざまな関係で、その部会では、専門知識がないような場合が想定された。従って、事務局としては、このオブザーバーの出席については、有効に今後部会の中でご協議いただいて、必要な方を参画いただけるように考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にないか。</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局案としては委員会に3つの部会を設置するということである。今回の副会長の選任については、資料1の次期北九州市障害者支援計画策定委員会設置要綱の第6条にあるが、第2項に部会に属すべき委員は委員長が指名する。また、第6条第3項に部会に部会長を置き、部会長は委員長が指名するものとする、とある。部会の委員構成については、事務局で案があるかと思うがいかがか。</p>

<p>障害福祉課長</p>	<p>事務局としては、支援体制・基盤整備部会については、山根委員にお願いしたい。</p> <p>それから、自立生活支援部会の部会長については、西南女学院大学の杉原委員にお願いしたい。</p> <p>また、人権・社会参加部会の部会長については、竹田委員にお願いしたい。</p> <p>なお、部会につきましては、計画案を作成するための作業部会であり、作業部会で作成した案をもとに本委員会に報告し、検討を行っていく形を取りたい。また、委員の皆様においては、3つのいずれかの部会に所属をしていただくが、委員の皆様に出していただいた希望調書をもとに事務局にて案を策定した。各部会委員名簿（案）を配付しているので、確認をお願いしたい。なお、部会の委員の最終決定については、第2回目の策定委員会でご報告をさせていただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、事務局案について、支援体制基盤整備部会の部会長は山根委員、自立生活支援の部会長には杉原委員、人権・社会参加部会の部会長には、竹田委員をご指名いただいたが承認いただけるか。</p> <p>（異議なし）</p>
<p>委員長</p>	<p>委員構成について事務局から提案があるが、これについてはいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>支援体制基盤整備部会には、当事者がいない状況である。当事者が各部会に一人もいない状況を作る事について審議いただきたいと思うのと、自立支援協議会との役割分担、位置付けについて、整理が必要と思っている。</p>
<p>障害福祉課長</p>	<p>委員構成について、この作業部会を決定するにあたり、当初の案内の中で、皆様方の希望を優先して、部会の構成員を決めたところである。</p> <p>当事者がいない中での審議では、当事者の意見が反映されないという事があるので、現在決定している方の中から個別にご相談をさせていただく等対策を考えたい。</p> <p>2番目の、自立支援協議会と本委員会の関係についてであるが、自立支援協議会について、先日も開催したが、相談窓口のあり方について、市内の関係窓口の行政機関の方など、ほとんどの窓口の担当の方に集まって頂き、将来の相談体制のあり方や連携の方策等について協議を行った。自立支援協議会で頂いた意見については、本委員会の方に報告し、反映させていきたいと考えている。</p>

委員長	他にないか。
委員長	<p>【国の動向】 次第の4つ目の国の動きについて、事務局から説明をお願いします。</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料4に基づき事務局説明</p>
委員長	<p>以上で本日の議事等は終了するが、全体を通して委員の皆様の方からご質問、ご意見等はあるか。</p>
委員	<p>現在の計画の検証を行い、それを踏まえられて、次の計画に生かすことが必要と思う。また、広報活動、シンポジウム、講演会を開催するなど、市民に浸透させることも検討してほしい。</p>
障害福祉課長	<p>平成22年度の取り組みの成果については、今年の夏以降に取りまとめをする予定である。その結果については、この委員会の中で報告し、前回の成果、課題を踏まえた所での計画にしたいと考えている。それから、市民へのPRについては、事務局としても大変重要だと思っている。素案が出た後、出前講演など、この施策をPRするような方策については、検討してまいりたい。</p>
委員	<p>資料の取り扱いについて質問する。資料は複写して配ってよいのか、インターネットでこれを載せて開示してよいのかどうか尋ねる。</p>
障害福祉課長	<p>基本的には、この会議自体は公開であり、資料の扱いについても公開であるので、ご自由にして頂きたい。</p>
委員	<p>部会を4回しか開催しない中で、どれだけの事が話し合われるのか不安に感じる。一年間という期限が限られているので、その中で、工夫しながら、やっていかなければいけないのではないかという風に思っているが、色々なところで行われる勉強会や、委員会などで話された事もまとめ上げていくような作業をして頂きたい。</p>
障害福祉課長	<p>部会の回数については4回を考えているが、部会の話し合いの中で、さらに議論が必要という事であれば、回数を増やす事はお願いしたい。ただ、この計画については、今年度中に策定をするという計画であるので、その時期は、守って頂く。</p> <p>意見の集約という事であるが、障害者の団体や当事者の方から意見を頂いている。貴重な提言については、なるべくこの計画の中に反映する方向で検</p>

<p>委員</p>	<p>討させて頂きたい。</p> <p>資料3の次期支援計画の策定について、基本目標と施策の方向性があるが、基本目標、1、2、3それぞれ順番に、今日ご提示頂いた、支援体制基盤整備部会、自立生活支援部会、人権社会参加部会に対応する理解でいいのか。ご提示頂いた国の今後の改革の方向性とか、また、その大元となる国連の人権条約からすると、その人権の尊重と保障が、最初であって、そこから全て派生する理解が必要になると思う。</p>
<p>障害福祉課長</p>	<p>一点目のご質問の、それぞれの施策と部会の検討事項が対応しているかについて、これについては、この項目が、それぞれの部会にリンクしていると考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>国の動向を把握しなければならないと思う。北九州市の計画の予定及び国が出している予定でいいと思うが、タイムスケジュール的なものを国の動きと計画策定の動きを重ね合わせた表を作っていただきたい。</p>
<p>障害福祉課長</p>	<p>事務局として出来る限り国の状況を把握してご要望に沿えるような形で重ね合わせた資料について工夫をしてみたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、他に質問等がなければ、以上で本日の委員会は終了するが、事務局から何かあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員の皆様のご意見をより反映させるため、意見シートをお手元に配付させていただいている。</p> <p>これから約1年間、特に秋から冬にかけてだが非常に大変な作業となる。委員の皆様のご理解とご協力をお願いします。</p> <p>また、第2回目以降の本委員会の日程については、事務局にて調整する。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、これをもって、本日の（次期）北九州市障害者支援計画策定委員会を閉会する。</p>